

被災地の青少年への支援—東北の現在とこれから

東日本大震災から2年、被災地への支援を、いかに効果的に継続していくかという方策が求められています。また、被災地では、地域の生活再建や産業復興は徐々に進みつつあるものの、その陰で我慢を続ける子どもたちへのケア、支援がなかなか進まない現状があります。当協会では、2013年2月に「被災地青少年支援企業事例集」を発行し、様々な企業による支援の実例を紹介しました。今回はその中から、フィリップ モリス ジャパン株式会社の事例と、NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク理事長の菊池信太郎氏の活動を紹介します。企業の行なう被災地支援の新たな可能性を探ります。

事例報告1：長谷川 徳生氏（フィリップ モリス ジャパン株式会社 コーポレートアフェアーズ コミュニケーションズ / CSR・社会貢献マネジャー）

山尾 ゆり氏（フィリップ モリス ジャパン株式会社 コーポレートアフェアーズ ガバメントアフェアーズ アシスタントマネジャー）

被災地の子どもたちの自立支援の視点から、高校生による企画・運営の『いしのまきカフェ「」』（かぎかっこ）の立ち上げ・運営への支援を続ける。

事例報告2：菊池 信太郎 氏（小児科医・NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク理事長）

福島県内でも被ばくが懸念される地域のひとつ、郡山市で、子どもたちの運動量不足が心身に与える影響に警鐘を鳴らし、思い切り遊べる屋内遊び場を官民共同で作る。

日 時

2013年3月14日(木) 15:00~17:00

事例報告1、2 15:00~16:30

※終了後、懇親会がございます。

質疑

16:30~17:00

(1時間半ほど予定、希望者のみ)

場 所

大日本印刷株式会社 コミュニケーションプラザ ドットDNP

東京都新宿区市谷田町 1-14-1 DNP 市谷田町ビル *裏面の地図をご参照ください。

定 員

60名

参加費

会員：2,000円 / 一般：5,000円 / 学生：1,000円 ※懇親会は別途3,000円程度

問合せ先

公益社団法人日本フィランソピー協会 (担当：杉本美奈子)

TEL: 03-5205-7580 FAX: 03-5205-7585 E-mail: office.2011@philanthropy.or.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244

お名前 (ふりがな)	()		
所属先 (企業/団体名)			
部署・所属			
所在地 (個人の場合はご住所)	〒 -		
種別 (○で囲んでください)	<input type="checkbox"/> 会員(¥2,000) <input type="checkbox"/> 一般(¥5,000) <input type="checkbox"/> 学生(¥1,000)		
TEL		FAX	
E-mail		懇親会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加

第 281 回定例セミナー 会場のご案内

日 時:2013 年 3 月 14 日(木) 15:00~17:00

会 場:大日本印刷株式会社

コミュニケーションプラザ ドット DNP

東京都新宿区市谷田町 1-14-1 DNP 市谷田町ビル



交通アクセス:

東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅 6番出口から徒歩 1分

東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 6番出口から徒歩 1分

JR 市ヶ谷駅 徒歩 5分

都営新宿線 市ヶ谷駅 1番出口から徒歩 6分